



【2017-02-01】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

今週の雑感

『散歩がてらに近くの寺社を
訪れてみる（その一）』

長野修二

散歩がてらに近くの寺社を訪れてみる（その一）

昔からの集落があるようなところでは、数多くの寺社仏閣があります。私が住むこの地でも昔からの集落を中心にいくつもの寺社が存在しているようです。

2時間弱の散歩で、5つ、6つは発見できます。

ただし、新興住宅地や新しく整備された地域で見つけることは簡単ではないでしょう。

むしろ都内のほうが多くの寺社仏閣を訪ねることができます。

その意味では、東京は新しいものが沢山生まれていますが、歴史があるだけに古き時代の、とくに寺社仏閣はいたるところで見ることが可能でしょうか。

この地では、従来から稲作をおこなっていたエリアや昔から長く住んでいる集落とその水田、里山の近辺に多くあるようです。

日頃利用する大きな道路でも、里山に近いところでは寺社を見ることがありますが、散歩がてらに実際にいってみると、その大きさや寺社が建っている環境は千差万別です。

もっとも、必ず存在しているのがご神木でしょうか。

とにかくその大きさに驚きますし、その壮観な姿に身が引き締まる思いがします。

日常的に田んぼを散歩コースにしている私は、その風景の四季の移り変わりがとても心地よく、開けた景色と風の流れ、空の色、そして田んぼを取り巻くなかにいる動物や昆虫、あるいは植物たちの生きざまをみることで身体のバランスを保っているように感じています。

そんなとき田んぼ歩きのコースを考えるために地図を見ることになりましたが、とくに冬の田んぼは自由にコース取りができるので地図を確認してみると、改めて田んぼや里山の近隣に寺社が多く存在しているということでした。

先週、そのような中で発見したいくつかの寺社を散歩がてらにめぐって見ましたが、寺社の大きさにかかわらず地元の人たちに大切にされていることを知りとても感動しました。

私が住む新興住宅地にはない長い時間の流れの中で人々に親しまれ集落の中心にしっかりと鎮座していることは、人間と稲作や里山の歴史を今につないでくれているのではないのでしょうか。

そのような時間の流れとまわりの景色を見ながらの散歩は、普段の田んぼの散歩とは一味違った感情がわいてきます。

先週は、日頃の散歩コースから外れて少し里山へは行ったところにある「薬師堂」というお寺をはじめて訪れてみました。

お寺といっても住職がおられるようなお寺ではありませんが、檀家のお墓があり、きれいに清掃され建物も小さいながらきちんと維持されているようです。

里山の中腹にあり、日差しが差し込み景色がよく、とても気持ち良いところでしょうか。

ご先祖様も心地よいところで眠っておられるようですし、お墓参りにこれる方たちにとってもすばらしい場所になっています。



次に訪れた「三峰神社」は、しばしば車で側を通るのですが車の往来が激しくなかなか降りてみる事ができないところでした。

そのため通りすがりに見るばかりだったでしょうか。

見てのとおり小さな神社ですが、立派な鳥居をもって非常にきれいにされている個人まりした建物です。



次に訪れた「浅間神社」は、途中急坂を下りて里山の間にある田んぼを抜けた山の中にある小さな神社ですが、立派な鳥居からすると険しい山の崖を登るといふ少々びっくりするようなところでしょうか。

しかも手作りの手すり（パイプ）と階段はこの地の人たちによるものよう

で素朴でなんとも言えない味わいがあります。

しかし、急こう配には驚きましたし、その先にある神社のたたずまいは山の中にある祠といった風情でしょうか。

地元の生活感がひしひしと伝わってくる温もりのある神聖なところです。





その次の寺社は、道中には竹林があり、その脇を上がっていけば、「香取神社」です。

香取市にある香取神宮に関係するのかわかりませんが、かなり立派な社殿です。

当地では、「香取神社」、あるいは「麻賀多神社」という名称の神社が多く散見されますが、これらの関係はこれからの学びになるでしょう。

鳥居から上がっていく階段はこの地の起伏のように急こう配になっており、その先に社殿と立派なご神木があるというなかなか壮観なものとなっています。

地元の人たちに親しまれているのがよくわかる神社です。





最後に訪れたのは「御嶽太神」ですが、途中に「道祖神」があったようですが見逃してしまいました。

こちらも立派な社殿とご神木を有し歴史を感じる神社でしょうか。

それぞれに共通していることですが、起伏が激しい地形のため、小高い丘の上であり、まわりの眺めがよいのも特徴です。

地元のお祭りの写真なども飾ってあり、集落の中核をなしているのは間違いないのではないのでしょうか。

古からの人々の息吹を感じることができる神社です。



今回は五つの寺社を訪れてみましたが、田んぼの散歩と違い里山の中は、かなりきついこう配があり、いつもと違った景色ですが、人々の生活の中にそれぞれの寺社が寄り添うように建っていて古くから多くの人達から守られ、愛されていることがよくわかりました。

都会の中にも多くの寺社があり、いつもと少しばかり散歩をする方角を変えてみるだけで違った景色やその地の息吹を感じることができるのかもわかりません。

今年は田んぼを散歩することもさることながら、田んぼから少し入った集落

にある寺社をめぐってみようと考えています。

身近なところに沢山のよい出会いと新たな感動はあるものです。

自分が住んでいるところに日々感謝でしょうか。

<[バックナンバー](#)>